

文化財防災体制についての
国際比較研究

公開フォーラム

日本には各地に多様な歴史資料が豊富に残されています。しかし、多発する自然災害や人口減少などの影響で、地域社会の歴史遺産は散逸・滅失の危機にさらされています。とくに阪神淡路大震災から東日本大震災を経て、未指定文化財を含む幅広い歴史文化遺産をどのように守り、次世代へと継承していくのが大きな課題となっています。

同様に膨大な文化財を有するイタリアでは、全土の様々な文化財情報を地理情報(GIS)と連動させて総合的に管理する「文化財危険地図」(文化財のリスクマップ、Carta del Rischio)の構築・運用が進められています。このフォーラムでは、イタリアで進められている「文化財危険地図」など同国の文化財保護について理解を深めるとともに、日本の現状も踏まえて、国際的な視点から歴史文化・災害文化を支える市民社会のあり方について議論します。

2015.10.24 Sat 13:00~17:30
神戸大学瀧川記念学術交流会館

参加無料

申込不要

遂次通訳あり

| ご挨拶 |

北後 明彦 (神戸大学都市安全研究センター長)

栗原 祐司 (独立行政法人国立文化財機構本部事務局長)

| 趣旨説明 |

奥村 弘 (神戸大学人文学研究科教授)

| 講演 |

カルロ・カカーチェ (イタリア国立保存修復高等研究所 [ISCR])

「イタリアにおける文化財危険地図システムの構築と運用について」

| コメント |

村上 裕道 (兵庫県教育委員会事務局参事兼文化財課長)

朝賀 浩 (文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官)

| パネルディスカッション |

コーディネーター：奥村弘、天野真志 (東北大学災害科学国際研究所)

[主催] 科学研究費基盤研究S「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立
——東日本大震災を踏まえて」研究グループ (研究代表者・奥村弘)
東北大学災害科学国際研究所

共催/神戸大学都市安全研究センター

協力/神戸大学震災復興支援・災害科学研究推進室、神戸大学人文学研究科地域連携センター

後援/独立行政法人国立文化財機構、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
イタリア文化会館-大阪、神戸新聞社、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、
読売新聞神戸総局、産経新聞神戸総局、日本経済新聞社神戸支社、
サンテレビジョン、NHK神戸放送局



お問い合わせ

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学人文学研究科 (担当: 吉川圭太)

E-mail: yoshik@port.kobe-u.ac.jp TEL: 078-803-5571 / FAX: 078-803-5566

公開フォーラム「文化財防災体制についての国際比較研究」

■ 講師プロフィール

カルロ・カカーチェ (Prof. Carlo Cacace)

文化財の保存修復に携わるイタリア国立保存修復高等研究所 (Istituto Superiore per la Conservazione ed il Restauro [ISCR]) の情報システム部長。専門は情報工学。イタリアで進められている多様な文化財情報を地理情報 (GIS) と連動させて総合的に管理し、その危険度を評価した文化財のリスクマップ「文化財危険地図」(Carta del Rischio) の情報システム責任者を務める。



■ 会場のご案内

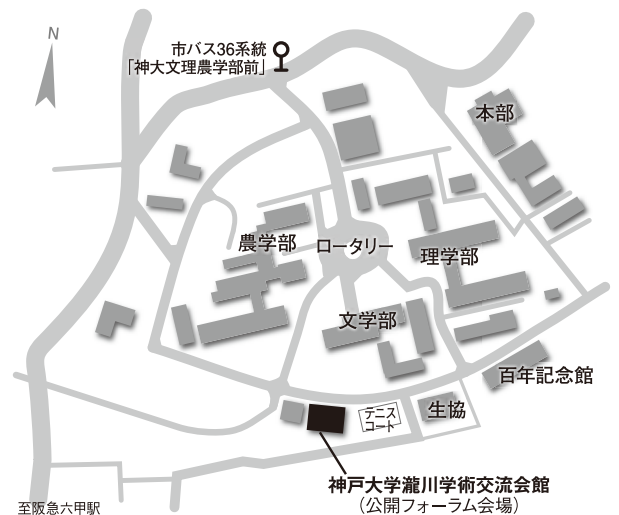
神戸大学瀧川記念学術交流会館
(神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学六甲台第2キャンパス)

[市営バス]

阪神御影駅・JR六甲道駅・阪急六甲駅から、いずれも神戸市バス36系統「鶴甲団地行」または「鶴甲2丁目止まり」行き乗車→「神大文理農学部前」下車

[タクシー]

阪急六甲駅より約5分、JR六甲道駅より約10分、阪神御影駅より約15分



■ レセプション参加申し込み

フォーラム終了後18:00より同会場にてレセプションを開催します。こちらへの参加は要申し込みとなります。

メールまたはFAXにて、10月16日[金]までに下記までお申し込みください。(会費5000円程度)

E-mail: yoshik@port.kobe-u.ac.jp

FAX: 078-803-5566 (担当: 神戸大学人文学研究科・吉川)

国際会議「文化財防災体制についての国際比較研究」(神戸会議・仙台会議)のご案内

※神戸会議・仙台会議は研究者を対象とした会議となります。

参加ご希望の方は、①お名前、②ご所属・職名、③メールアドレス、④参加希望日程を明記の上、メールまたはFAXにて下記までお申し込みください。【申し込み締め切り】10月16日[金]

E-mail: yoshik@port.kobe-u.ac.jp FAX: 078-803-5566 (担当: 神戸大学人文学研究科・吉川)

両会場とも定員60名(先着)。定員に達し次第、締め切らせていただきますので予めご了承下さい。

神戸会議

【日時】2015年10月22日[木] 13:00～17:30
10月23日[金] 9:30～15:00

【会場】神戸大学文学部C棟5階大会議室
(神戸市灘区六甲台町1-1)

10月22日[木]

- ・開会挨拶: 内田 俊秀 (京都造形芸術大学名誉教授)
- ・講演: カルロ・カカーチェ
- ・報告: 二神 葉子 (東京文化財研究所情報システム研究室長)
「文化財の地震危険度評価とその活用」

10月23日[金]

- ・日本側研究者による報告:
 - 小林 健一郎 (神戸大学都市安全研究センター准教授)
 - 前田 正明 (和歌山県立博物館主任学芸員)
「和歌山県における津波被害想定地域を対象とした文化遺産所在確認調査について」
 - 中谷 友樹 (立命館大学歴史都市防災研究所教授)
「文化財防災における地理情報の活用(仮)」
 - 久留島 浩 (国立歴史民俗博物館館長)
「歴史資料のデータベースについて(仮)」

仙台会議

【日時】2015年10月27日[火] 13:00～17:30

【会場】東北大学災害科学国際研究所
(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)

- ・開会挨拶: 今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所所長)
- ・講演: カルロ・カカーチェ
- ・日本側研究者による報告:
 - 小谷 竜介 (東北歴史博物館)
「動産文化財の防災対策と情報収集
——東日本大震災の経験と文化財保護制度の間で」
 - 永井 康雄 (山形大学地域教育文化学部)
「東日本大震災における『歴史的建築データベース』の活用とその後の状況について」
 - 佐藤 大介 (東北大学災害科学国際研究所)
「『災害『前』の所在確認調査』は史料を救うのか
——日本・宮城県での活動から」

主催: 科学研究費基盤研究S「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立——東日本大震災を踏まえて」研究グループ (研究代表者・奥村弘)
東北大学災害科学国際研究所
共催: 神戸大学都市安全研究センター
協力: 神戸大学震災復興支援・災害科学研究推進室
神戸大学人文学研究科地域連携センター
後援: 独立行政法人国立文化財機構